

1. キッチンガーデン

食育は、食に関する非常に幅広い内容を含み、健康、教育、環境、農業など多方面に及んでいます。食育に対する取り組みは、関係者が、それぞれの立場で、食育を実践し、食料や食生活を大事にする心を身に付けていくことが求められています。このような、食育実践に対する農業面からの効果的な取り組みには、無・減農薬地産物の地産地消の推進並びに農業体験の推進などがあります。



地産地消の効果には、地で育ったものを地の人が食することで、健康的な食生活の維持、また、無・減農薬栽培されたものを食することで、食の安全の確保があります。さらに、身近な家の庭やベランダなどで野菜づくりをする農業体験で、食や農業への理解が深まり、ひいては健全で安心な食生活につながります。

このような視点から、本館正面入口前の花壇を野菜、ハーブ、花を配したキッチンガーデンを設置し、市民に野菜等の生産や、生育過程を展示することによって、食育の普及・推進を図っています。

栽培については、松戸市農業協同組合や松戸市無農薬栽培研究会の栽培指導のもと、植え付けから栽培の管理を、東葛福社会のみなさんにご協力



をいただき運営をしています。6月、10月には、市内児童による収穫祭を行ないました。食育の情報発信基地として野菜の生育過程を身近にみてもらい、食と農への理解を深めてもらいます。

東葛福祉社会会長・角谷 昭一さんのお話

私たち東葛福祉会は、会員280人のボランティア団体で、保育所や病院の花壇の世話から、高齢者の介護までさまざまな活動をしています。キッチンガーデンでは、4月に野菜の植え付けを終え、その後、週1回の草取りや虫の駆除を行っています。苗にネットを被せたり、葉の裏を一つひとつ見て手で虫を取り除いたり、作業は、手間のかかることが多いですが、その分作物に対して愛情も湧いてきます。キッチンガーデンを見た人が、ご家庭でも野菜を栽培するなど、作物をもっと身近に感じてくれたら嬉しいです。

無農薬栽培研究会会長・吉田 昇一さんのお話

私たち無農薬栽培研究会は、無農薬野菜の栽培を始めて今年で14年目になります。

農薬が作物にどんな影響を与えるのか、また、子どもや孫の世代にどんな影響があるのか、まだわからない部分もありますが、土壌には良くないことはわかっています。

無農薬栽培は手間がかかりますが、食の安全を守るため続けていきたいですね。

やはり無農薬で育てた野菜はとてもおいしいですよ。私たちが作った野菜は南部市場内「みどりの都」で販売しています。また、松戸まつり、みどりのフェスティバル等でも即売会を開催していますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

